

情報公開文書

研究の名称	回復期リハビリテーション病棟における移動方法と転倒による外傷重症度の検討
整理番号	No. 88
研究機関の名称	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
研究責任者 (所属・氏名)	堀川英世 (リハビリテーション科)
研究の概要	<p>【研究対象者】 当施設回復期リハビリテーション病棟に入院した方のうち、2017年4月から2022年3月までに報告されたインシデントレポートレベル3a以上の転倒の報告を対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】 回復期リハビリテーション病棟には主たる移動方法が車椅子の方と歩行器を含めた歩行の方がおられます。座面からの高さの転倒よりも立位や歩行中の転倒の方が、加わる衝撃が強く重大な外傷に至りやすいことが考えられます。今回、歩行している症例の方が車椅子使用中の症例よりも転倒により外傷に至った場合重症度が高くなるという仮説を立て、主たる移動方法と外傷の重症度との関係を調査します。</p> <p>【研究の方法】 後ろ向き観察研究 当施設の電子カルテの診療録とインシデントレポートから、年齢、性別、疾患別リハビリテーションの対象疾患、転倒場所、転倒時点の主たる移動方法、同一入院期間内の二回以上の転倒の有無、転倒前30日以内の機能的自立度評価法 (Functional independence measure: FIM)、FIM運動項目、FIM認知項目、FIM移乗 (ベッド・椅子・車椅子)、FIM移動 (歩行)、転倒時の動作、受傷部位、外傷の種類、外傷に対する手術の有無を調査します。</p> <p>【研究期間】 2023年1月17日 ~ 2023年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会または医学雑誌での発表</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	試料はありません。研究に用いる情報は電子カルテとインシデントレポートから抽出します。他機関への提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター リハビリテーション科 堀川英世
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター リハビリテーション科 堀川英世
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外 (試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-438-2233 E-mail ricacoco@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 リハビリテーション科 堀川 英世